

# 原発 **〇** にむかって

2012年5月15日 No.19

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

## 陸前高田 『忘れないで、細く長く東北に寄り添う支援』 4/27-29

私の中では、『忘れないで、細く長く東北に寄り添う支援』に忠実に、今年のゴールデンウィークも震災ボランティア『陸前高田市民を勝手に応援する会』に参加しました。80人を超える団体で、80歳を超えた年齢の方もいました。朝現地に着くと、陸前高田の手前のボランティアセンターに車が次々到着、大勢の人が集まって来ました。NHKの取材もあり、ボランティア10万人目の方が表彰されていました。私たちは配られた菓子パンを道の駅でたんぼを見ながら食べて、いざ小友(おとも)小学校に出発！陸前高田は昨年と比べて、瓦礫もなくなり、瓦礫を粉砕する大きな処理場もできていました。電柱も規則正しく立ち、少しでも前に進んでいる様子がわかりました。



小友小学校は津波で被災し廃校になる予定だそうです。瓦礫はすでに撤去され、一見問題ないようでしたがすべての側溝がつまり、地面にもたくさんの物が埋まっていました。私たちはコツコツと一つずつ色々なものを掘り出し、側溝の泥をかきだし一生懸命働きました。子供たちがまたここで遊べるように、ひまわりをたくさん植えられようようにそんな思いをこめてみんなと一緒にがんばりました。



気仙沼では、にぎやかなところと被災の後が隣り合わせでちぐはぐで、南三陸は、まだまだ人の手が入ってなくて荒れている感じがしました。宿泊するホテルに着くまで、行けども行けども、ずっと震災の景色が続き胸が痛みました。(大田病院 加藤千鶴子)

## 「3.11を忘れないバイバイ原発パレード」in八王子

「3.11を忘れない バイバイ原発パレード」と集会が5月11日、八王子市内で行われ150人が参加しました。このとりくみは毎月11日にさまざまな形で市民に発信を続けている「放射能から子どもを守ろう 原発ゼロへの会」が主催。集会では、福島から避難している



人たちなどにつくっている「つながろう！八王子で！」代表・佐藤喜彦さんの「何も知らなかった人がいちばんの被害者になった。原発なくせの声を大きくしていこう」との訴えなど、参加団体の熱い思いが語られ、原発ゼロと被災者支援の思いを深めました。集会には日本共産党、自民党、生活者ネットの市議会議員からも連帯のメッセージがよせられました。



主催者からは、「福島に飲料水を送ろう」募金が呼びかけられ、その場で3万円以上が寄せられました。集会、パレードとも若い人の参加が目立ち、パレードでは飛び入り参加者や沿道から高校生がカンパを寄せてくれる場面もありました。当日はインターネットで生中継されました。【2012/5/11 バイバイ原発パレード】で検索できます。(共立医療会 橘田淑子)